7月15日にBELS評価書作成プログラム(Ver.10.0.0)の改修を行います。

改修日時:7月14日(火)17:30~7月15日(水)9:30

※7月14日(火)17:30より評価書作成PGのログインは出来なくなります。

改修内容は、令和元年度 ZEH ロードマップフォローアップ委員会とりまとめ(令和2年3月) ZEH Oriented における要件の追加(多雪地域)、「令和元年度 ZEB ロードマップフォローアップ委員会とりまとめ」(令和2年4月) ZEB Oriented 「未評価技術(公益社団法人空気調和・衛生工学会において省エネルギー効果が高いと見込まれ、公表されたものが対象)を導入すること」の項目の追加などの評価に係る内容となります。以下、改修内容。

1. ZEH Oriented における要件の追加(多雪地域)
2. ZEB Oriented における要件について導入した未評価技術の選択項目を追加
3. インターフェイス規定書の項目追加(「未評価設備6項目」の追加)
4. 機関用エクスポートの項目追加(「未評価設備15項目」の追加)

1. ZEH Oriented における要件の追加(多雪地域)

■ZEH Oriented の要件にて適合を選択した場合、評価書に既存の文言に加えて以下の記載が追加されます。

- ・都市狭小地⇒都市部狭小地
- ・及び「多雪地域(建築基準法で規定する垂直積雪量が100cm以上に該当する地域)」

改修後の評価書表示(ZEH Oriented の要件 適合を選択した場合)

■その他の項目(申請者からの情報提供に基づいて記載した事項であり、評価に基づくものではありません。)

ZEH Oriented の要件のうち、「都市部狭小地(北側斜線の対象となる用途地域又は高度地区において高度斜線が設定されている地域等であって、敷地面積が85㎡未満である土地。ただし、住宅が平屋建ての場合を除く。)」及び「多雪地域(建築基準法で規定する垂直積雪量が100cm以上に該当する地域)」に関する事項については申請者からの自己申告によるものであり、評価の対象外である。

2. ZEB Oriented における要件について導入した未評価技術の選択項目を追加

■ZEB Oriented における要件について、導入した未評価技術の既存 9 項目に新たに以下の 6 項目が追加されます。(選択項目が、全 15 項目となります。)

1.ハイブリッド給湯システム等	4.自然採光システム
2.地中熱利用の高度化	5.超高効率変圧器
3.コージェネレーション設備の高度化	6.熱回収ヒートポンプ

参考情報入力画面 (追加された 6 項目)

ハイブリッド給湯システム等	☒ 有 ☐ -
地中熱利用の高度化	☒ 有 ☐ -
コージェネレーション設備の高度化	☒ 有 ☐ -
自然採光システム	☒ 有 ☐ -
超高効率変圧器	☒ 有 ☐ -
熱回収ヒートポンプ	☒ 有 ☐ -

改修後の評価書表示(15 項目全てを選択した場合)

■その他の項目 (申請者からの情報提供に基づいて記載した事項であり、評価に基づくものではありません。)

・ ZEB Oriented の要件のうち、「建築物 (非住宅部分) 全体の延べ面積が10,000㎡以上であること」、「未評価技術 (公益社団法人空気調和・衛生工学会において省エネルギー効果が高いと見込まれ、公表されたものが対象) を導入すること。」に関する事項については申請者からの自己申告によるものであり、評価の対象外である。なお、申告された未評価技術は、以下の通りである。

C02濃度による外気量制御	自然換気システム	空調ポンプ制御の高度化
空調ファン制御の高度化	冷却塔ファン・インバータ制御	照明のゾーニング制御
フリークーリングシステム	デシカント空調システム	クール・ヒートトレンチシステム
ハイブリッド給湯システム等	地中熱利用の高度化	コージェネレーション設備の高度化
自然採光システム	超高効率変圧器	熱回収ヒートポンプ

↑
新たに追加された6項目

※各画面イメージは、開発時のものです。公開時とは多少異なる場合があります。

3. インターフェイス規定書の項目追加 (「未評価設備 6 項目」の追加)

■ 2. に伴い XML に「未評価設備 6 項目」の項目を追加します。

※ 項目はインポート時の必須とせず、Ver.9.0.0 の XML も使用可能となります。

4. 機関用エクスポートの項目追加 (「未評価設備 15 項目」の追加)

■ 未評価設備 15 項目について、今回の改修で出力できるようにします。